

会員各社で行われている防災・安全衛生に対する取り組み その2



当協会の防災・安全衛生委員会の副委員長を務めております常盤電業株式会社 代表取締役の竹野と申します。

第1弾では、株式会社塩野電設殿の交通事故・車両事故防止の意識を高めるための月末に行われる一斉車両点検が紹介されました。当社もそれを見習い、車両への愛着を持ち、車両事故防止に努めていきたいと思っております。

今月は、第2弾として当社で行っております防災・安全衛生に対する取り組みを紹介させていただきます。

当社は東京本社を中心に7つの営業所があるため、全社員一斉にとはなかなか難しいところですが、「**交通事故・労働災害は会社存亡の危機を招く**」を大きなテーマとして、安全対策協議会を設置し、営業所毎の現場パトロールとは別に年2回、安全対策目標を定め、現場パトロールを実施しています。また、新入社員には、新人実技研修を行い、仕事に対する姿勢、安全施設工事をしている意義と誇り、危険に対する考え方等を外部講師を交え指導し、それをもとに工事の基本動作および基礎技術の研修をしております。

安全対策協議会では「ヒヤリ・ハット」撲滅が交通事故・労働災害ゼロに繋がるという思いから、社員一人一人に「ヒヤリ・ハット」体験を報告させ、その体験をお互いに分析し、安全意識を常に向上させるよう努めております。このような活動を行っていても「ヒヤリ・ハット」体験がゼロになることはなく努力している最中であります。しかし、危険である、不安全であるということを常に念頭におくことは大切であると考えています。

信号工事のほか保守業務・緊急待機業務も行っており、地震や台風等自然災害、さらにはさまざまな障害に瞬時に対応する必要があるため、その体制・技術向上に努める行動力も大切などあります。全社員一人一人が社会の安全に貢献しているという意識を持ってもらうために、社会人としてのさまざまなマナー、当社の社員としての自覚など「成長」に力を入れているところです。

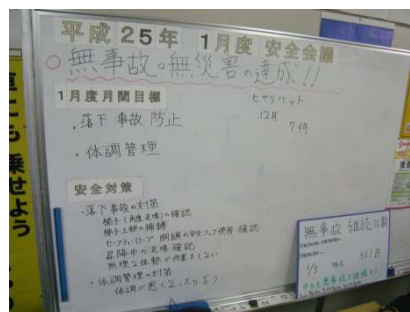
26年度は「安全思想」を当社の風土として浸透させ、何においても安全第一を優先し明るく活発な会社を、社員全員で目指しております。



2013. 3. 30 全社員参加安全大会



新人実技研修



安全対策会議